

9月の植物

ノリウツギ ユキノシタ科アジサイ属

(学名 : *Hydrangea paniculata* Siebold)

林道を走っていると、車窓からパッと目を引く白い花が咲いている。ヤマアジサイ等アジサイの仲間「ノリウツギ」の花である。県内の山中で普通に見ることができる。ノリウツギは日当たりのよい山地に生え、葉柄は長さ 1~4cm、葉身は卵状楕円形で、長さ 5~15cm、幅 3~8cm、先は短く尖り、基部は丸い。葉の縁には小さな鋭いギザギザがある。白く花弁のように見える 4 枚はがくで装飾花と呼ばれ、本当の花はその周辺や枝先にあつて小さな花弁を 5 枚付けた構造をしている。開花している個体があれば注意深く観察してほしい。

名前の由来は、樹皮の裏に粘液があり、和紙を漉く時に使用する糊として古くから利用されてきたことからと言われている。

(伊藤幸子)



(撮影 井手義信 脊振山)

(参考文献) 絵合わせ 九州の花図鑑